

第2回「安曇野の自然まるわかり観察会」

【日時】7月2日（土） 18:30~20:30

【場所】安曇野市自然体験交流センター「せせらぎ」 安曇野市明科中川手 2455

【テーマ】夏の風物詩 ホタルを見守ろう

【講師】藤山静雄さん（信州大学名誉教授・松本ホタル学（まなぶ）会）

【参加人数】27名（大人13名、子ども14名）

【事務局スタッフ】久保田、深澤、中村、幅、百瀬、市川、坂井

【内容】

「夏の風物詩 ホタルを見守ろう」をテーマに、安曇野市明科地域の自然体験交流センター「せせらぎ」周辺をフィールドに自然観察会を実施しました。今回は、夜の観察会です。

講義が始まるまでのあいだに「ホタルがすんでいるのはどんな場所？」という題で、ホタルの住む環境のイメージを絵に描いてもらいました。この絵は後で先生にご講評いただきました。

プログラムの最初は、「せせらぎ」館内にて藤山先生の講座です。まずはクイズ形式で、ホタルの基礎知識を教えてくださいました。ホタルは親だけではなく、卵のときからすべてのステージで光ることやゲンジボタルの点滅時間の違いなど、驚きの生態を教えてくださいました。講義後半は、ホタルをいかに保全していくか、という話をお聞きしました。ホタルを保全するには、「ホタルがすめる環境ではなく、ホタルもすめる環境」、つまりホタルだけがすめる環境では無く、様々な生きものと一緒に生活できる環境をつくるのが大事とのことでした。

会場のせせらぎ周辺に生息するホタルは「ハイケボタル」とのこと。松本平では主に水田に生活し、小さな水生貝類（モノアラガイなど）を主に食べているそうです。またせせらぎ周辺のハイケボタルは、水温の関係から他の生息地よりも出現が1~2週間遅れるとのことでした。

午後8時前には外が完全に暗くなり、いよいよホタル観察に出発です。わさび畑からの水路をいにて、小さな光が草むらでみつけられます。時間が経つにつれ、光の数が多くなり、飛行する個体もみられました。ハイケボタル特有の細い光が幻想的でした。

夜活動する昆虫を観察するために「ライトトラップ」も設置していましたが、カナブンの仲間やトビケラの仲間がたくさん集まっていました。

ホタルだけではなく、様々な生き物が共生していることを改めて感じることができました。



藤山先生の講義



みんなで描いた絵（ホタルのすむ環境）

第3回「安曇野の自然まるわかり観察会」

【日時】10月16日(日) 9:30~11:45

【場所】国営アルプスあづみの公園 安曇野市堀金烏川33-4

【テーマ】正しくきのこを鑑別しよう

【講師】小林 長幸さん(きのこ衛生指導員)

百瀬 剛さん(自然観察の指導者)

【参加人数】23名

【事務局スタッフ】深澤、中村、平沢、百瀬、井下

【内容】

「正しくきのこを鑑別しよう」をテーマに、国営アルプスあづみの公園をフィールドに自然観察会を実施しました。今回は、きのこの見分け方についてです。

プログラムの最初は、公園内にてきのこの探索です。まずは小林先生にきのこを採る際の注意事項や、きのこを見つけるコツを教えてもらいました。木の根元や草むら、藪の中だけではなく、道路脇や石の周りなど、目が届きにくい場所にも意識を集中させて探すとみつけやすいなどの、実践的な内容のお話しでした。公園内できのこを探した後は、室内で参加者のみなさんが採取したきのこを見ながら、間違いやすい危険なキノコの紹介や、その種類や特徴、食べられるかどうかなどについてのお話しをお聞きしました。一見するとよく似た見た目のきのこでも、形やぬめり、香りなどで見分けることができるので、目だけでなく、五感を使って見分けることが大切とのことでした。

今回みつけたきのこの中には、「ショウゲンジ」や「マツタケ」などの美味しいきのこのほか、「ドクツルタケ」などの毒性をもつきのこもありました。人によっては食べると体調を崩すという、「ハイロシメジ」などのきのこもありました。

最後に、きのこを採りに山に入る時の注意点として、講師の百瀬さんからツキノワグマについてのお話しをお聞きしました。ツキノワグマに遭遇したときの対処の仕方や、そもそもクマに出会わないためのポイントなどを教えていただきました。クマと出会わないためには、クマにこちらの居場所を教えることが大切、とのことでした。きのこ採りに集中していると、周りの状況が目に入らなくなってしまうので、十分注意したいものです。



きのこ探し



参加者のみなさんが見つけたきのこ

第4回「安曇野の自然まるわかり観察会」

【日時】11月19日(土) 18:30~20:30

【場所】天平の森天文台 安曇野市明科光 2573-35

【テーマ】星空観察会~秋の星座と惑星たち~

【講師】天平の森天文同好会の皆さん

百瀬 剛さん(自然観察の指導者)

【参加人数】31名

【事務局スタッフ】深澤、平沢、中村、百瀬、井下

【内容】

今回の観察会は「星空観察会~秋の星座と惑星たち~」というテーマで、天平の森天文台にて星空観察会を実施しました。

プログラムの最初は、大広間で天体観測をするための条件(森林や大気的作用について)の座学です。講師の百瀬さんから、安曇野で星がよく見える理由や、星座のみかたなどを教えていただきました。星の光は大気中の様々な物質に反射して地上に届く光が少なくなる、森林は大気中の物質を取り除いてくれる作用がある、といった内容に加え、様々な星座の名前や星座にまつわる神話をお話ししていただきました。

その後、2班に分かれて、天体観測室と屋外に移動し、星空を観察しました。星空の解説は、天平の森天文同好会の皆さんです。天体観測室では、大型天体望遠鏡で、大きく拡大された美しく輝く星々を観察しました。屋外では、同好会のみなさんに天体望遠鏡をご用意いただき、星座や星の観察をしました。観察では、秋の代表的な星座の形や、星の成り立ち、星までの距離などを教えていただきました。

天体望遠鏡で観察した星や星雲・星団は、数十以上の星が集まっている「すばる(プレアデス星団)」や、2つの星が重なって見える二重星「アルビレオ」などです。肉眼でも見えますが、天体望遠鏡をのぞき込むと、色や形、星の数まではっきりと見ることができました。

観察会終了後も、参加者の皆さんが、天体望遠鏡をのぞき込んでいたり、屋外で空を眺めながら星座を探していたりと、星座や星への関心をより一層もたれていた様子でした。

これから空気が澄んで星がもっとよく見える季節になります。寒さ対策を万全にして皆さんも星空観察をしてみてくださいはいかがでしょうか。



天体観測室での観察



屋外での観察